

福井県民の消費者マインドは… 物価上昇により今後の暮らし向きに不安



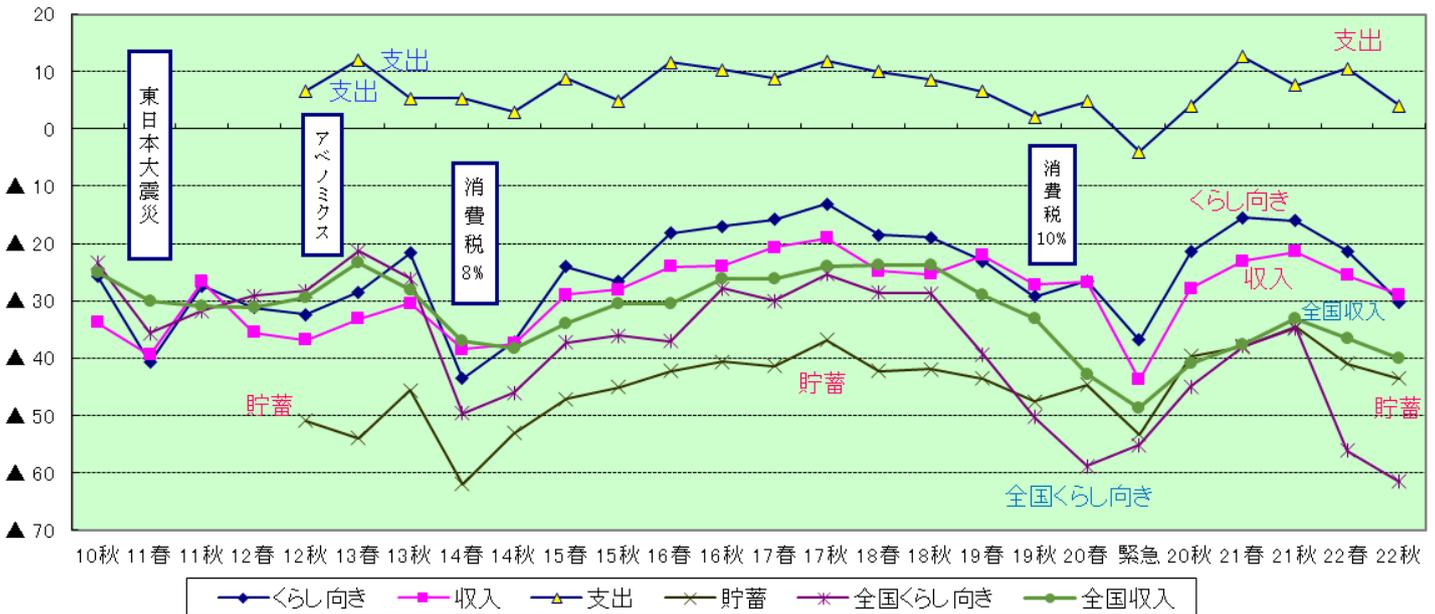
福井県内消費者に、半年前と現在の暮らし向きを比べた生活実感、および今後半年間の暮らし向きについて質問し、D.I.値（「良い」「やや良い」から「悪い」「やや悪い」の回答割合を差し引いた数値＝景気動向指数）の結果から、福井県民の今の消費者マインドが見えてきました。この紙面でお伝えできない調査結果はくらナビ HP で報告しています（<https://www.kuranavi.jp/reports>）ので、どうぞそちらもご覧ください。

2022秋 今後半年間の暮らし向きなど

- ① 今後半年間の生活の見通しについて、暮らし向き・収入・支出・貯蓄の全てでD.I.値が下がり、コロナ感染拡大以後2番目に悪い結果となりました。コロナ「第7波」が下火になり、経済回復への期待が高まっている中、また、「収入」はそれほど悪くならないと予想しているにもかかわらず、物価上昇に対する警戒心と生活防衛意識が反映され、「暮らし向き」に不安を持っていることが表れました。
- ② 「支出」に対する慎重な姿勢がうかがえ、物価上昇により否が応でも増えることが予測される中、本格的な節約志向に入っている様子がわかります。
- ③ 前年と比較した現在の暮らし向きと収入でも、収入の状況が悪くなっていない一方で、暮らし向きはやや後退しており、物価上昇の影響が表れているといえます。

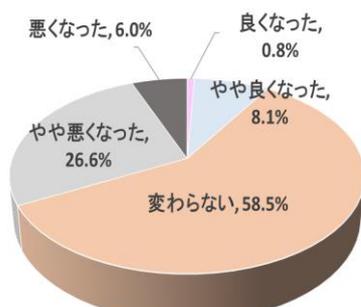
	暮らし向き	収入	支出	貯蓄
良くなる(増える)	0.8%	0.5%	6.0%	0.9%
やや良くなる(やや増える)	3.1%	4.0%	24.7%	5.1%
変わらない	61.6%	61.8%	41.6%	43.8%
やや悪くなる(やや減る)	27.2%	22.7%	20.1%	29.8%
悪くなる(減る)	6.6%	10.4%	6.6%	19.4%
無回答	0.8%	0.6%	0.9%	1.1%
D.I. 値	▲ 30.2	▲ 28.9	▲ 4.0	▲ 43.6

今後半年間の暮らし向きなど 過去のD.I.値推移

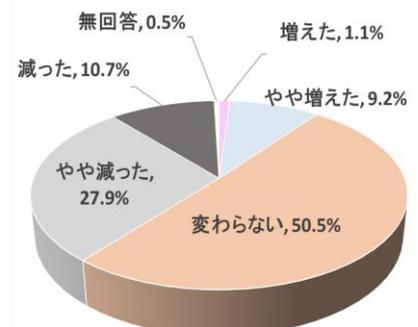


前年と比べて実質暮らし向きと収入の変化 D.I.値推移

実質の暮らし向き			
21年春	21年秋	22年春	22年秋
▲ 16.6	▲ 15.9	▲ 21.0	▲ 23.7
実質の収入			
21年春	21年秋	22年春	22年秋
▲ 26.3	▲ 25.8	▲ 28.4	▲ 27.9



22年秋 前年と比べて実質暮らし向き



22年秋 前年と比べて実質収入